



新板 繪入 頭書

# 都往來

坐右日用重書

童蒙手跡枕書古

登 酒 局



目錄

七夕並試筆詩

百官並國誌卷

十干十二支

いはは書名盡身

書狀書名同返書

同書道同刻様

偏傍揃冠盡

小笠原折形

十二月和名

十二時異名

願成不成就日

七夕待次  
臨城が  
去乞巧  
糸  
糸  
糸



赤森  
の  
代  
の  
人  
の



都往來并國書



一 色も市に  
 二 星も遠き  
 三 味も別な  
 四 依りも恨  
 五 一し色も市に  
 六 味も別な  
 七 依りも恨  
 八 一し色も市に  
 九 味も別な  
 十 依りも恨

頻りに涼風  
 秋まゝの涼風  
 さやうふつとね  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま  
 とも風の春ま

都住来  
 宮古入事  
 少く芳来  
 国坊り  
 粗書記  
 山島  
 急  
 力  
 子

下  
 植  
 正  
 天  
 宮  
 住  
 来  
 時  
 此  
 京  
 住  
 地  
 心  
 神  
 相  
 感  
 入  
 地  
 心  
 志  
 心  
 神  
 相  
 感  
 入  
 地  
 心



いんちんが...  
月夜...  
夢...  
及...  
後...  
お...  
あ...  
ま...  
去...  
震...

月...  
お...  
あ...  
ま...  
去...  
震...

春の...  
見物...  
帝...  
先...

吉田...  
天照太神...  
日...  
勤...

神と申しあり  
書初めは  
天筆和合  
樂地福皆  
満ちし徳の  
うしと申す  
うらやま  
かきと申す

靈地ありり  
高き山に  
變の比叡山傳  
大師の因基  
唐土の天宮と模

長生殿裏  
不老門  
日月進  
嘉辰令月  
秋分  
樂味央

これらの中堂  
戒壇堂禁に山王  
廿一社  
冷馬  
堂若五社

池凍東頭  
窓梅水面  
雪封寒  
春風去水  
時來  
一  
紙  
今  
日  
不  
去

五義之吉者  
風やまじく  
文  
日  
月  
来  
正  
首  
福

昔もあつらひし  
祇園の寺  
檀現る花  
滝の白線と  
は打能わ  
佛教

通天の  
東福寺  
打過  
海軍  
中山



大内織部 大工大炊 之内教掃部 内膳造酒 采女之水 深心左京 東市西市 右京西市 右馬寮 修理司 長官 長官

右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門 右系左衛門

天全新生之徳の里  
戴きほほし原本  
新花とわさるあ  
思ふ徳よいま  
氣も都々しゆり業

芳神の徳の花も  
初春の湯しかり  
滋や九重の法毒  
至しゆ地布一度  
玉城の地と端紐紫



的 口 別  
 法 義 教 員  
 常 力 滝 口



世界不生の世に承く  
 以て我志の如く急如  
 神の身をも教養を以て  
 秀しき事為さるん  
 心くはめくぬか

志を掲おろす  
 一小社万の地  
 あろおろ  
 やうハ白あり  
 きこころし  
 きぬふしひま  
 てゆふひあり  
 くとめえた  
 てうハありと  
 とやーとて  
 やうしとて  
 たいしとて

大日本國法  
 五畿内五ヶ國  
 山城 大和 河内  
 和泉 攝津  
 東海道十五ヶ國

晴天よりく  
りしてあつ  
ゆの中へその  
ことを兼ふく  
れと入あそ  
せんく物  
をあふふ  
一白さ物よ  
糸の志ふ  
たるおはゆ  
のりゆよ  
てあふふ

一ひそ外  
何みても  
酒のかけ  
あふおはこ  
くふのゆよ  
て洗へ  
くまのゆ  
たふおはみ  
あふをせん  
トしてあふ

上総	相模	駿河	尾張	伊賀
下総	武蔵	甲斐	三河	伊豫
常陸	安房	伊豆	志摩	志摩

東山道八ヶ國	近江	信濃	陸奥	水陸
飛騨	美濃	上野	出羽	陸奥
下野	下野	下野	下野	下野

白山神又ハ  
かきまじり  
すこのけし  
ハ上下よか  
を並やうど  
の光そあ  
をけつ  
く時よハ紙  
みうつる  
紙とさう  
くつけハ

若狭  
能登  
佐渡  
丹波

山陰道八ヶ國  
丹波  
丹後  
但馬

越中  
越後  
加賀

おちるあり  
又さもめ  
すこのけし  
るハ茶のり  
又ハそく  
まてもあ  
まりけし  
りみ法  
魚  
あハ深の  
物おと  
石む

周倭  
石見  
播磨  
備中

山陽道八ヶ國  
伯耆  
備前  
備後

石見  
備前  
備後  
安藝

東

西

あを入をま  
りたる物も  
ともよひれて  
おまば白く  
あやかり  
一、あまの  
ものおと  
あやう酒あ  
うてあま  
白くあま  
一、あま  
あまあかり

周防

南海乃六ヶ國

長門

紀伊

淡路

阿波

讃波

伊豫

土佐

西海道九ヶ國

かくりたる  
ハ士居ゆえ  
まゝくあ  
ほかを物  
あかりき  
づくハ境湯  
まてまゝ  
一、あま  
あまの竹  
ハ白あま  
せんト洗

筑前

筑後

豊前

豊後

肥前

肥後

日向

大隅

薩摩

二橋

志波

対馬

漆川

一志の村  
たろハロウ  
まんをせん  
トあふ  
又ハラをぶ  
一をせん  
ト流ふも  
又ハあさわく  
まもあふ  
一おまら  
のいりま  
糸のす

せんドてあ  
らハ  
二血の村  
ハせ  
ま  
う  
ち  
お  
物  
ま  
は  
は  
ね

京都

長崎

会津

坂田

水戸

江戸

堺

寛上

金沢

福井

大坂

仙臺

秋田

仙台

孰賀

小湊

赤松

廣徳

姫路

小倉

秋田山

鹿嶋

熊手

外國

朝鮮

琉球

大清

一考のち奥  
のち付たる  
ハコゾウの  
あふとあ  
ふと一  
一白地の物  
魚糸の付  
るまめ  
をバカと  
あふハ  
あふ物

阿蘭陀 交趾 暹羅  
天竺 蝦夷 國門

ハ口 イナカ 斤  
イロハニホヘト 子リスルヲソカ  
ヨタレソツ子ナ ラムウ井ノオク  
ヤケフユエテ アサキユメシ  
エヒモセス ニメヒ

十二月之和名

睦月 正月 夜多  
生月 知月  
皇月 水月  
文月 葉月  
長月 神月  
霜月 極月  
十二月之英名

正	二	三	四	五	六	日	就	成	不
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六
廿七	廿八	廿九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六
三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六
四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六
五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六
六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六
七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六
八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六
九十七	九十八	九十九	一百	一百一	一百二	一百三	一百四	一百五	一百六

尾陽書林

風月堂孫助梓

寛政十一年己未秋九月

三  
齋  
樂  
郡  
布  
里  
村

竹  
川  
林  
三  
郎  
貞  
貞